

証券コード
3837



2016年2月24日
東京証券取引所市場第二部へ
上場しました

4th IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業
Anniversary

 アドソル日進

2016年3月期
決算のご報告
2015.4.1 ~ 2016.3.31

IoTで未来を拓くアドソル日進

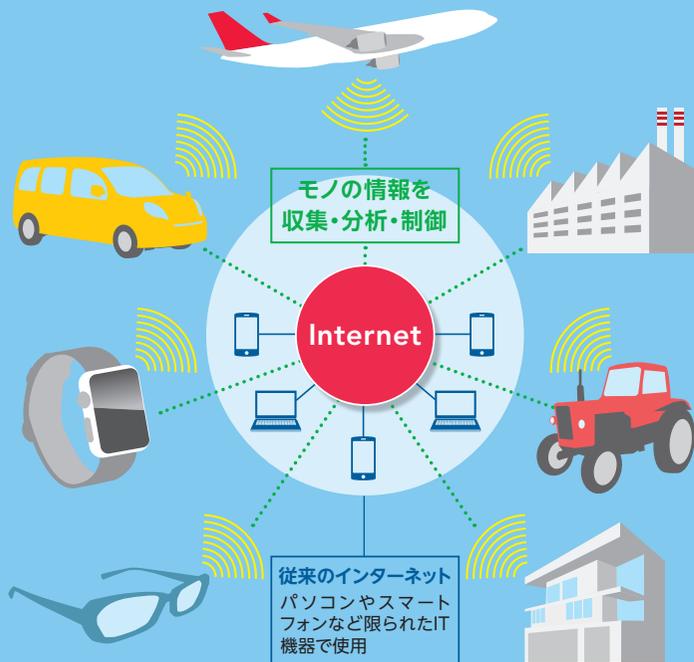
現在、パソコンなどの情報・通信関連機器以外に、カメラやメーター、自動車、家電製品、医療機器など、あらゆる「モノ」が相互接続するIoT (Internet of Things:モノのインターネット) が急速に拡大しています。

アドソル日進は、デバイス制御から広域ネットワーク、大規模基幹システム、クラウド、ビッグデータまでのIoTシステムの全領域を事業領域とするとともに、セキュリティ・ソリューションをワンストップで提供することで、次世代社会システムへの移行・更新に寄与し、より豊かな社会への発展に貢献してまいります。

What's IoT?

Internet of Things

身の回りにあるモノにセンサーが組み込まれて
直接インターネットにつながる世界



● セキュリティ脅威に対して



IoT機器に未知の脅威が潜在するリスクに対し、セキュリティ・ソリューションを提供しています。また、当社が特許を保有する「ID認証セキュリティ・ソリューション: tACCESS®」を活用したフィジカル・セキュリティも提供しています。

● 自動車・道路で



ナビゲーション情報やコンセルジュ情報取得のほか、エコドライブ・安全走行を支援する領域に参入しています。

● 航空領域で



ますます航空機を利用した移動が増加する中で、航空機の安全な運航を見守っています。

豊かな社会の発展に向けて



IoT機器は、より高度な働きができるよう、収集した画像・音声・温度・湿度などのあらゆる情報をインターネットを介して蓄積・分析し、私たちの暮らしに役立っています。

アドソル日進は、IoTを活用した次世代社会システムの提供により、「安心」「安全」「快適」「環境」の面で課題の解決を図り、豊かな社会の発展につなげてまいります。

● 災害時に



自治体などで導入されているGIS(地理情報システム)を活用した総合防災システムにより、地域の安心を見守っています。

● 病院で



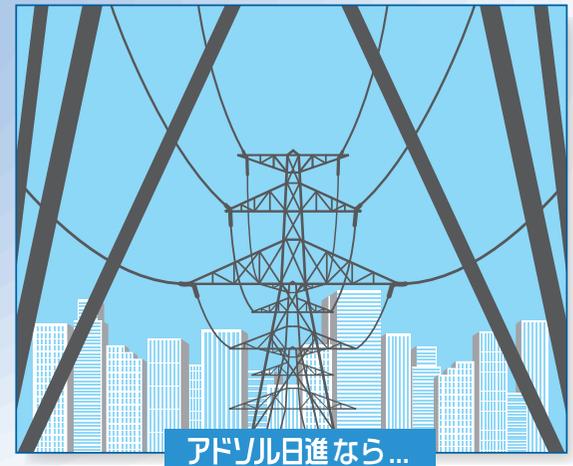
先進医療機器や電子カルテ、地域医療ネットワーク、お年寄りの介護・見守りに至るまで、健康で安心な暮らしに貢献しています。

● ネット決済で



テレビ、インターネットなどの通販でのお支払い。クレジットカード、振込、コンビニ支払い、代引など、利用者のニーズに最適な決済サービスを提供しています。

● 電力・ガスの自由化で



2016年4月からスタートした電力小売自由化。スマートメータ、データ通信、料金計算までをワンストップ対応しました。2017年4月に予定されているガス小売自由化にも取り組んでいます。



代表取締役社長

上田 三

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2016年3月期の業績および取り組みにつきましてご報告申し上げます。

業績面では、社会システム事業を中心に業績をけん引し、売上高104億円・営業利益5.4億円の過去最高の業績となり、6期連続の増収・営業増益を達成することができました。

取り組み面では、「セキュリティ元年」と位置付けた各施策を強化しました。また、東京証券取引所市場第二部へ上場市場を変更しました。

今後とも、皆様方のご期待にお応えし、一層の企業価値向上を図ってまいります。

引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年6月

社長インタビュー

Q

東京証券取引所市場第二部への市場変更を果たされてのお考えをお聞かせください。

A

Point

- 信用力向上にともなう受注拡大
- 中長期的な株価上昇に向けた体制づくり

当社の株式は、2016年2月24日に、東京証券取引所市場第二部へ上場市場を変更しました。

事業活動では、上場市場変更に向けた諸準備の過程において、業績面やコンプライアンス面など社会的信用力の一層の強化による、特に社会インフラ領域での需要を取り込み、受注拡大につなげ、お客様から安心して任せていただける企業へと進化を図ってまいります。

株式市場に対しては、より多くの皆様に、当社を知っていただくことで、企業価値の向上を目指してまいります。

Q

当期(2016年3月期)の業績の概要についてお聞かせください。

A

Point

- 売上高・営業利益ともに過去最高を達成
- 期初に発表した通期業績見通しを上方修正して着地

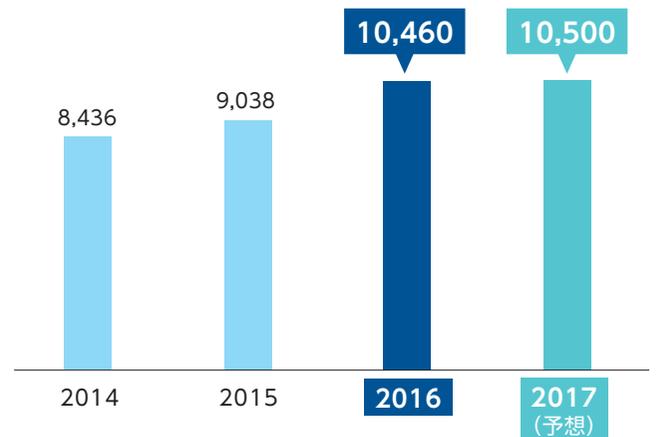
当期は、企業のICT投資意欲は高く推移し、受注も好調に推移したことから、6期連続での増収・営業増益を達成することができました。

事業別では、主力の社会システム事業における電力・ガスのエネルギー関連や、航空関連などが業績をけん引し、また、ユビキタス事業の自動車関連や複合機関連などが堅調に推移し、金融システム事業の落ち込みをカバーしました。

これにより、ROE(自己資本当期純利益率)は11.5%となりました。



売上高 (単位:百万円)





新・中期経営計画を策定されました。
その概要と目指す姿をお聞かせください。



Point

- 「利益成長型企业」への変貌を遂げるための3カ年
- IoTを活用した次世代社会システムで次なる成長を目指す

2019年3月期を最終年度とする新・中期経営計画「Vision 2020」では、目指す会社の姿を「IoTで未来を拓く総合エンジニアリング企業」としました。

IoTシステムの全域を事業領域とし、豊富な経験とノウハウを強みに、「安心」「安全」「快適」「環境」をキーワードにして、次世代型へと移行する社会の発展に貢献するとともに、2020年以降の持続的に成長を遂げるための変革期と位置付けて、「利益成長型企业」を目指してまいります。



配当方針について
お聞かせください。



Point

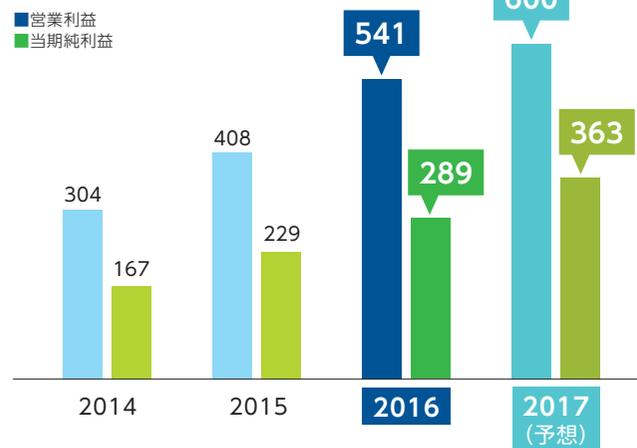
- 配当性向は3%アップの33%以上
- 7期連続増配を予定

当期末の配当は、東京証券取引所市場第二部への市場変更記念配当4円を含む19円とし、中間配当7円と合わせて、年間配当金は26円とさせていただきます。

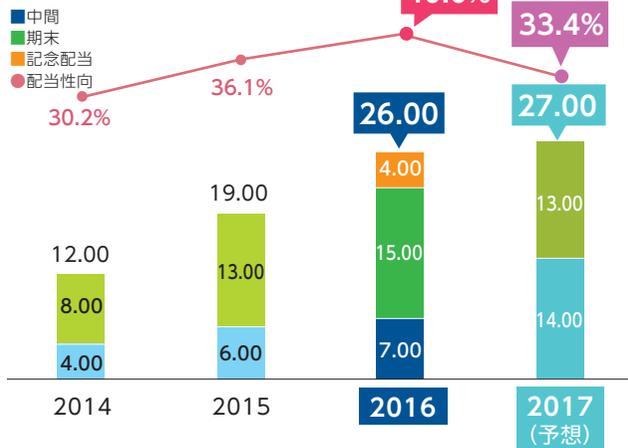
株主還元につきましては、持続的な安定配当に留意し、業績に裏付けられた成果の配分を行うとともに、2017年3月期より、配当性向は「3%アップの33%以上」を目指します。

これにより、2017年3月期の配当は、中間配当14円、期末配当13円の年間配当金27円を予想しております。

営業利益/当期純利益 (単位:百万円)



配当金/配当性向の推移 (単位:円)



アドソル日進 40年のあゆみ

1976 昭和51年3月	日進ソフトウェア(株)を東京都台東区に設立 (資本金25,000千円)
1991 平成3年11月	米国リンクス リアル タイム システムズ社 (現 米国Lynx Software Technologies社)と 「LynxOS」の販売契約を締結し販売開始
2003 平成15年11月	社名をアドソル日進(株)に変更 本社を東京都港区港南4-1-8(現住所)に移転
2004 平成16年9月	中国軟件与技術服務股份有限公司(中国北京市) に海外オフショア開発業務委託を開始 (平成17年10月に業務提携)
2007 平成19年2月	ジャスダック証券取引所 (現 東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)) に株式を上場
2008 平成20年10月	阪神・淡路大震災を教訓に、電気火災を予防する Zigbeeを応用した日本初の電源遮断システム 「グラッとシャット」を販売開始
2009 平成21年11月	大学病院に「タッチタグMRI検査室入退室 管理システム」を導入(当社特許)
2012 平成24年8月	大連運籌科技有限公司(Weavesoft Ltd.)に 資本参加・業務提携を締結 海外オフショア開発体制を拡充
2013 平成25年6月	ベトナムIndividual Systems社と業務提携 ベトナムでの海外オフショア開発体制を拡充
2015 平成27年10月	米国Lynx Software Technologies社と セキュリティ・ソリューション「LynxSECURE」 の日本国内総代理店契約を締結
2016 平成28年2月	東京証券取引所 市場第二部へ市場変更 米国サンノゼに、先進セキュリティ技術の 研究開発を行う子会社「Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc.」を設立

新・中期経営計画がスタート!

Vision

IoTで未来を拓く 総合エンジニアリング 企業

2016年4月より

新・中期経営計画 (Vision 2020) がスタート。

この3カ年を、2020年以降も持続的成長を

遂げるための変革期と位置付け、

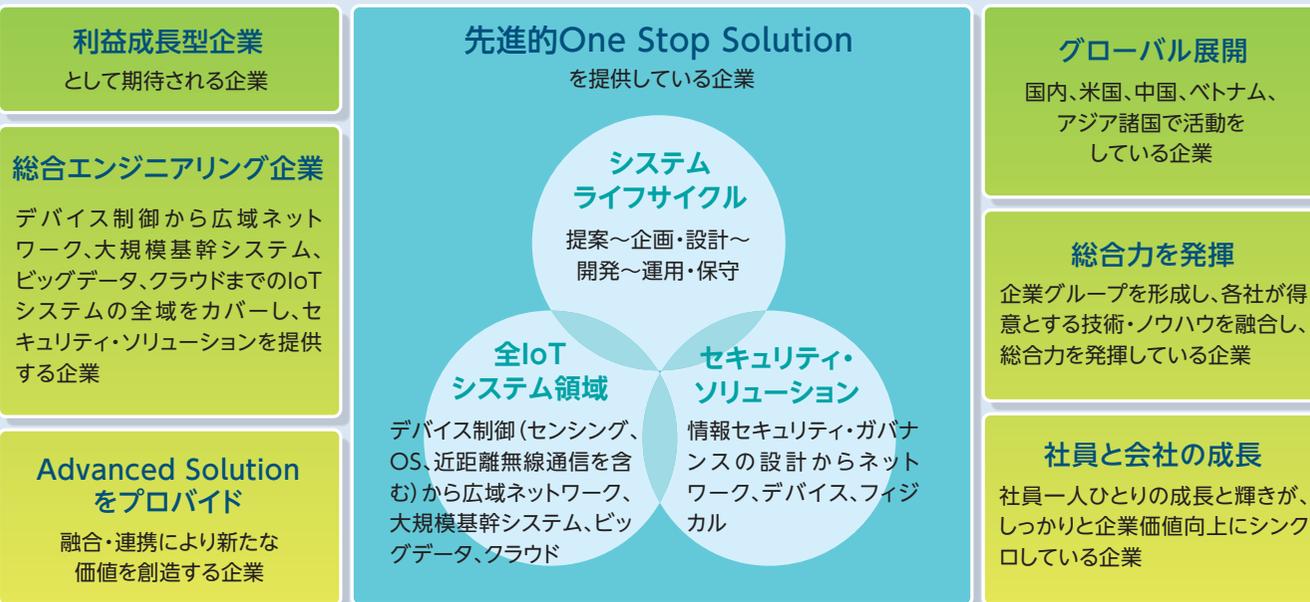
「IoTを活用した次世代社会システムで

次なる成長」をスローガンに、

持続的成長と企業価値向上を図り、

「利益成長型企业」を目指します。

IoT領域



新・中期経営計画業績目標 (単位: 億円)

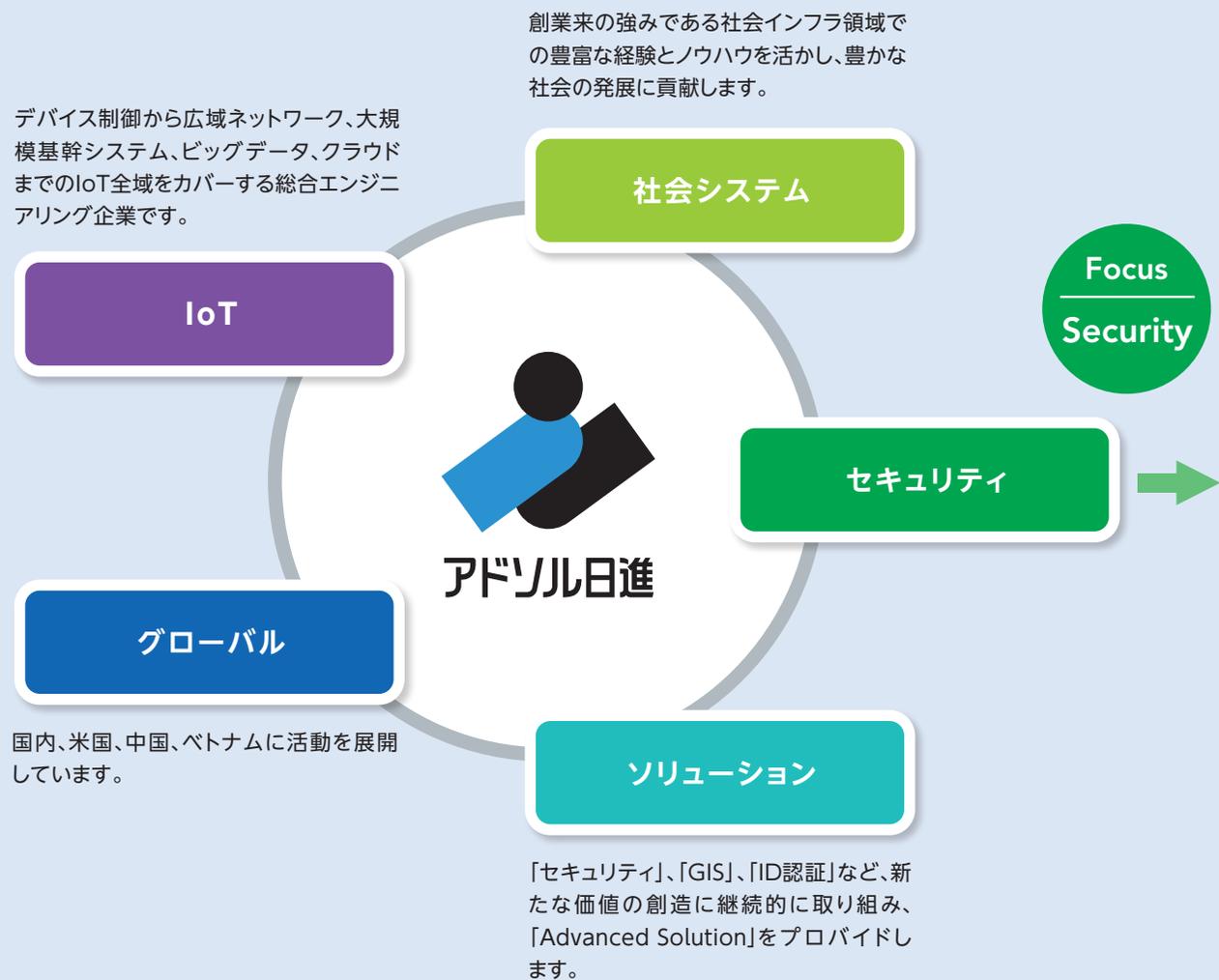


2019年3月期業績目標

売上高	110 億円
営業利益	8 億円
ROE	14 %以上
配当性向	33 %以上

IoTを活用した次世代社会システムで輝く「アドソル・ブランド」

当社は、「社会システムのアドソル」「IoTのアドソル」「セキュリティのアドソル」「ソリューションのアドソル」「グローバルなアドソル」として次なる成長を図ります。そのためにも、当社ならではの「アドソル・ブランド」を更に強化してまいります。



「セキュリティ」のアドソル

情報セキュリティ・ガバナンスの設計からネットワーク、デバイス、フィジカルに至るIoTセキュリティ・ソリューションをワンストップで提案する「セキュリティ・ソリューション・プロバイダー」です。

ソリューション

情報セキュリティ・ガバナンス

ネットワークセキュリティ

デバイス

フィジカル

ワンストップでご提供

アドソル日進

セグメント情報(2016年3月期)

事業展開

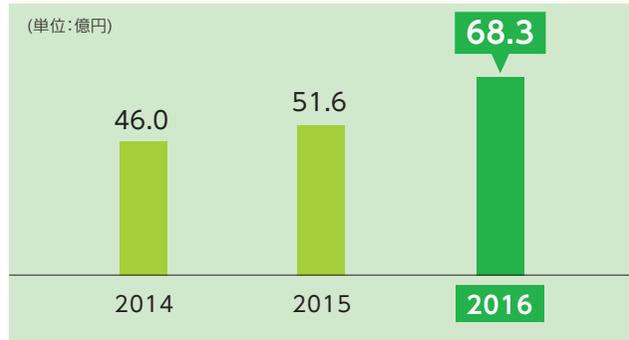
電力・ガス・航空・鉄道・自動車・道路などの社会インフラを中核に、先進IoT技術をフル活用して、豊かな社会の発展に貢献しています。

社会システム事業

売上高

68.3 億円

前期比 32.2%増 ↗



ビジネス分野では、電力の自由化関連が拡大し、ガスの自由化関連案件、メディカル関連や、ネットワーク・セキュリティ監視関連などが堅調に推移しました。

通信分野では、制御分野におけるスマートメータの通信制御関連案件への対応を強化したことに伴い減少しました。

制御分野では、鉄道関連や、プリント関連機器開発が減少したものの、スマートメータの通信制御関連案件や、航空関連が順調に拡大し、映像関連などが堅調に推移しました。

その結果、当事業年度の売上高は、68.3億円と前期比32.2%の増収となりました。

ユビキタス事業

売上高

16.6 億円

前期比 5.5%増 ↗



組込み分野では、自動車の次世代システム関連が拡大し、複合機関連やメディカル関連が堅調に推移しました。

ユビキタス分野では、食品工場でフードディフェンス対策として、当社が特許を保有する「ID認証セキュリティ・ソリューション:tACCESS®」の採用が継続し、スマートメータに搭載される国際無線通信規格「Wi-SUN」に準拠したファームウェア (uStack™) の提供が堅調に推移しましたが、OSや製品販売が減少しました。

その結果、当事業年度の売上高は、16.6億円と前期比5.5%の増収となりました。

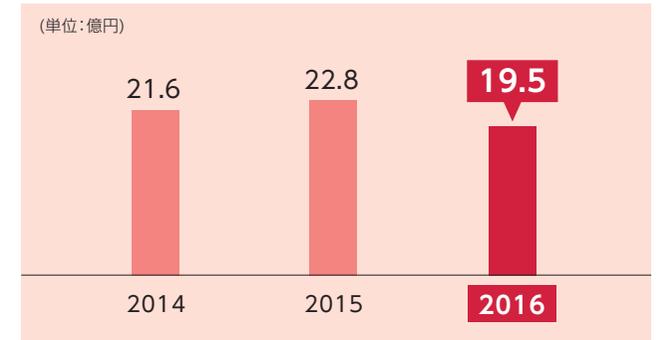
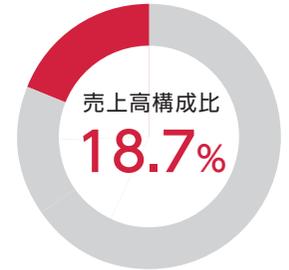
2017年3月期より、「IoTシステム事業」としてスタート!

金融システム事業

売上高

19.5 億円

前期比 14.4%減 ↘



金融分野では、信販向けクレジット・カード関連は堅調に推移しましたが、銀行営業店端末システムは次案件の立上がりが遅れたことにより減少しました。

また、案件の選択と集中による収益性の向上と品質強化に取り組みました。

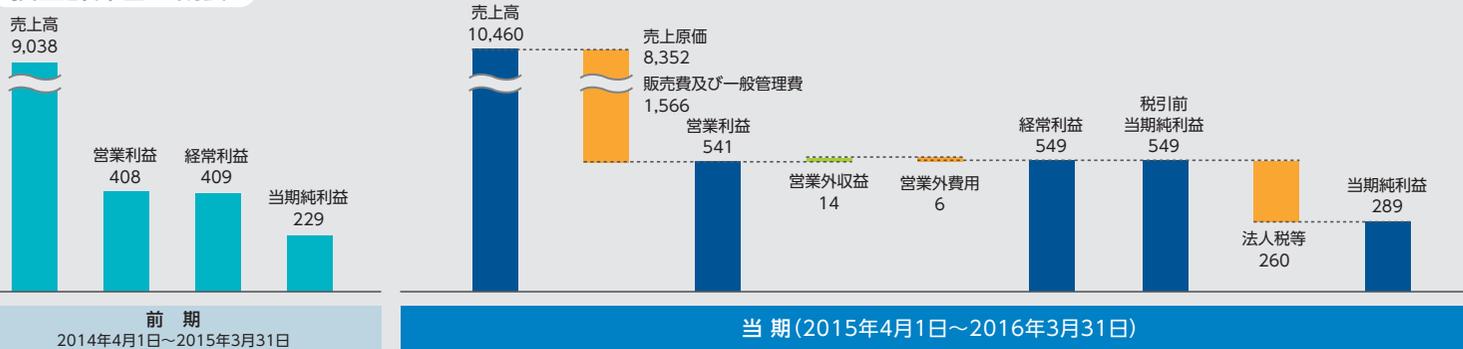
その結果、当事業年度の売上高は、19.5億円と前期比14.4%の減収となりました。

2017年3月期より、社会システム事業に統合・再編して、事業基盤の拡充を図ってまいります。

財務諸表 (2016年3月期)

損益計算書の概要

(単位:百万円)



Check Point

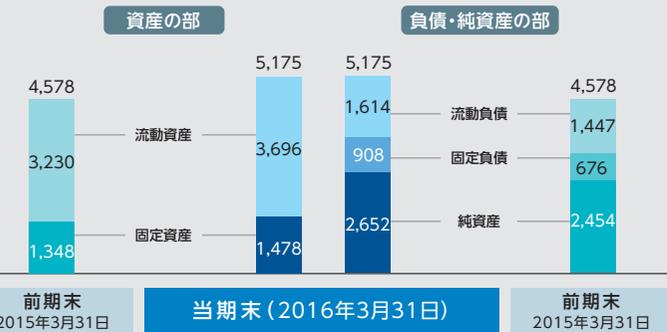
損益計算書のポイント 営業利益は、収益性向上への取り組みや、売上高の増加に伴う増収の一方、東証二部への市場変更関連費用、セキュリティ・ソリューション[LynxSECURE]の関連投資、開発環境の整備等に関する投資に加え、長期金利の低下に伴う退職給付費用の増加があったことから、541百万円となりました。

貸借対照表のポイント 資産の部では、流動資産、固定資産が増加し、資産合計は5,175百万円となりました。負債・純資産の部では、負債合計は流動負債、固定負債が増加したことから、2,523百万円となりました。純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、2,652百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書のポイント 現金及び現金同等物の期末残高は276百万円増加し、1,219百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは506百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは264百万円の支出となったことから、フリー・キャッシュ・フローは、242百万円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは34百万円の収入となりました。

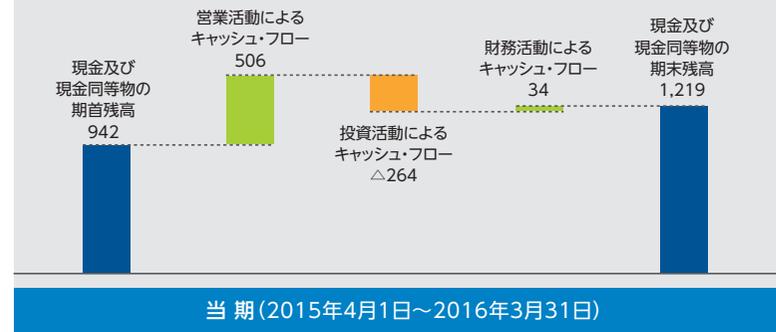
貸借対照表の概要

(単位:百万円)

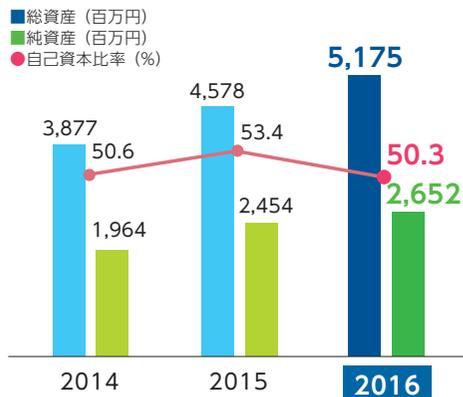


キャッシュ・フロー計算書の概要

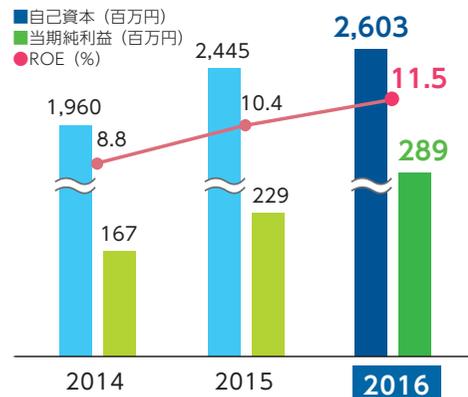
(単位:百万円)



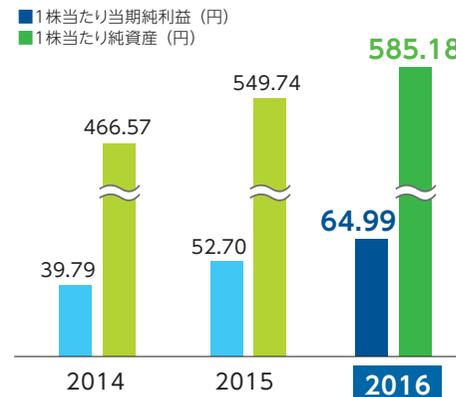
総資産/純資産/自己資本比率



ROE(自己資本当期純利益率)



1株当たり当期純利益/1株当たり純資産



次期業績予想 (2017年3月期)

売上高	105 億円	前期比 0.3%増
営業利益	6 億円	前期比 10.7%増
経常利益	6 億円	前期比 10.0%増
当期純利益	3 億円	前期比 25.5%増

Topics 1

創立40周年

2016年3月13日、当社は創業40周年を迎えました。

これを記念し、東京本社(東京都港区)、関西支社(大阪府大阪市)、九州支社(福岡県福岡市)、仙台開発センタ(宮城県仙台市)の社員が出席し、創立記念式典を執り行いました。



Topics 2

東京証券取引所市場第二部への上場市場変更

2016年2月24日、当社は、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から、市場第二部への上場変更をいたしました。

当日は、東京都中央区日本橋兜町の株式会社日本証券取引所において、役員、社員が出席し、市場変更セレモニーが執り行われました。



2016年2月24日付 日本経済新聞(朝刊)掲載の広告

Topics 3

米国サンノゼに子会社設立

2016年3月期を「セキュリティ元年」と位置付ける当社は、2015年10月、米国Lynx Software Technologies社と、「セキュリティ・ソリューション:LynxSECURE(リンクスセキュア)」の、独占販売権を含む日本国内総代理店契約を締結しました。

日本国内におけるLynxSECUREのビジネス展開を一層強化し、安心して製品導入をご判断いただけるサポート体制を構築し、お客様へのサービス、およびサポート体制の充実・強化、ならびに技術力の強化などを目的に、米国サンノゼにR&D(研究開発)機能を有する子会社「Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc.」を、2016年2月に設立しました。



Topics 4

『IoT時代のセキュリティ・フォーラム2015』を開催

『IoT時代のセキュリティ・フォーラム2015』～スマート社会におけるサイバー・セキュリティ最前線』を、2015年8月7日に、300名のお客様をお迎えして、東京・品川のグランドプリンスホテル高輪にて開催しました。

このフォーラムでは、「セキュリティ・ソリューション:LynxSECURE」のご紹介とともに、サイバー・セキュリティについての講演を、業界の最前線を歩まれる各氏にいただきました。



株主ひろば

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しています。

2014年9月末からは、株主優待を拡充し、保有株数に応じて「緑の募金」付きクオカードまたは、「紀州梅ギフト」から選べる株主優待カタログ(3,000円相当の商品から1品)を贈呈しています。

優待内容

100株以上2,000株未満

「緑の募金」付き
クオカード(500円相当)



100株以上500株未満 500円相当
500株以上1,000株未満 1,000円相当
1,000株以上2,000株未満 1,500円相当

保有期間特典

保有継続期間1年以上で、クオカード1枚(年間2枚)を追加贈呈

※保有継続期間は、毎年9月30日および3月31日を基準日として、同一株主番号で1年以上継続して保有されている期間。(同一株主名簿に連続3回以上記録)

※このクオカードには、社会貢献寄付金として「緑の募金」が付いており、公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付されます。集められた寄付金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりに活用されています。

2,000株以上

「緑の募金」付きクオカード又は「紀州梅ギフト」から選べる
株主優待カタログ(3,000円相当の商品から1品)を贈呈



「緑の募金」付きクオカード
3,000円相当



商品の発送

お申込はがきが到着した日から2週間程度でお届けします。
最終申込期限までに、商品のお申込がない場合は、クオカードをお届けします。
※写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

対象株主

毎年9月30日、3月31日の株主様(年2回)

時期

100株以上2,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定
2,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

ホームページのご案内

当社ホームページ(<http://www.adniss.jp/>)でも、株主・投資家の皆様向けに配当や株主優待の情報を逐次提供しております。

また、財務・業績情報、IRライブラリーなどの内容も充実しておりますので、是非ご覧ください。

トップページ



LynxSECURE



会社概要 (2016年3月31日現在)

会社名	アドソル日進株式会社
英文社名	Ad-Sol Nissin Corporation
所在地	東京都港区港南四丁目1番8号
設立	1976年3月13日
代表取締役社長	上田 富三
資本金	4億9,975万円
事業内容	独立系のICT企業として、社会システムを中核に企業や公共向け情報システムの開発、およびソリューションの提供ならびに商品化と販売
社員数	489名
拠点	東京本社 <支社>関西、九州 <開発センタ>仙台 <米国子会社>米国サンノゼR&Dセンタ

株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	14,400,000 株
発行済株式の総数	4,565,730 株
株主総数	3,780 名
大株主	

氏名又は名称	所有株式数(株)	持株比率(%)
株式会社インテック	585,000	13.14
アドソル日進従業員持株会	563,900	12.67
高原慶一郎	270,000	6.06
日本プロセス株式会社	247,000	5.55
株式会社みずほ銀行	186,000	4.18
株式会社三菱東京UFJ銀行	138,000	3.10
今藤一行	75,000	1.68
海瀬希予史	75,000	1.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	68,500	1.54
三菱電機コントロールソフトウェア株式会社	66,000	1.48
計	2,274,400	51.22

持株比率は自己株式(116,778株)を控除して計算しております。
 又、自己株式は上記大株主から除外しております。

所有者別株式分布状況 (2016年3月31日現在)



役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役社長	上田 富三
常務取締役	田井 史徳
取締役	田中 耕一
取締役	後関 和浩
取締役	篠崎 俊明
社外取締役	星野 将
社外取締役	峰野 博史
常勤監査役	三重野 裕彦
社外監査役	能口 誠一
社外監査役	山形 宗紀

株価の推移 (2013年4月1日～2016年3月末)

2013年4月1日を起点とした当社と日経平均の株価の推移を示したグラフです。2013年4月1日の株価を100として、その後どのように変動したかを示しています。



株主メモ

証券コード	3837
金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 (http://www.adniss.jp/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

配当金のお受け取りについて

配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2016年8月1日までとなっております。
 □座振込をご指定されていない株主様は、同封の期末配当金領収証をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受け取り願います。

お受け取り期間が過ぎたら・・・

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受け取りはできません。
 配当金領収証の表面のお届出印欄にご押印のうえ、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほ銀行の各本店および全国各支店にお持ちください。
 ※みずほ証券は、取次のみとなります。

配当金領収証を紛失されたら・・・

みずほ信託銀行証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手続きに時間を要しますので予めご了承ください。

銀行振込等のご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込等によるお受け取りをおすすめ致します。

アドソル日進株式会社

〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川
 TEL: (03) 5796-3131 (代)

